

# 安全データシート

Ver. 20140806

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	油性ペイントマーカーインキ 白		
製造会社名	株式会社カズキ高分子		
住所	島根県出雲市長浜町849-4		
担当部門	品質保証室		
電話番号	0853-28-2840	FAX番号	0853-28-0280
メールアドレス			
作成・改訂	2014年8月21日		

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性:  
 火薬類 分類対象外  
 可燃性・引火性ガス 分類対象外  
 可燃性・引火性エアゾール 分類対象外  
 支燃性・酸化性ガス 分類対象外  
 高压ガス 分類対象外  
 引火性液体 区分3  
 可燃性固体 分類対象外  
 自己反応性化学品 分類対象外  
 自然発火性液体 区分外  
 自然発火性固体 分類対象外  
 自己発熱性化学品 分類対象外  
 酸化性液体 分類対象外  
 酸化性固体 分類対象外  
 水反応可燃性化学品 分類対象外  
 酸化性液体 分類対象外  
 酸化性固体 分類対象外  
 有機過酸化物 分類対象外

環境に対する有害性:  
 水生環境急性有害性 区分1  
 水生環境慢性有害性 区分2

健康に対する有害性:  
 急性毒性(経口) 区分5  
 急性毒性(経皮) 区分5  
 急性毒性(吸入・ガス) 分類対象外  
 急性毒性(吸入・蒸気) 区分4  
 急性毒性(吸入・粉じん) 分類できない  
 急性毒性(吸入・ミスト) 分類できない  
 皮膚腐食性・刺激性 区分2  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A  
 呼吸器感作性 分類できない  
 皮膚感作性 分類できない  
 生殖細胞変異原性 区分外  
 発がん性 区分2  
 生殖毒性 区分1B  
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)  
   区分1(神経・腎臓・呼吸器・肝臓) 区分3(麻醉作用)  
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)  
   区分1(神経系・呼吸器)  
 吸引性呼吸器有害性 区分1

### ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:  
危険

### 危険有害性情報:

危険 引火性液体及び蒸気 飲み込むと有害のおそれ(経口) 吸入すると有害(蒸気) 皮膚刺激 重篤な眼への刺激 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害(神経、腎臓、呼吸器、肝臓) 眠気やめまいのおそれ

### 注意書き:

【安全対策】容器を密閉しておくこと。熱火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 【応急措置】火災の場合には適切な消火方法をとること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。衣類にかかった場合、直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。  
 【保管】容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。  
 【廃棄】内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報:



## 6. 漏出時の処置

- 人体 風下の人を避難させる。漏出した場所の周辺にはロープを張る等して人の立入りを禁止する。作業の際には、必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。  
蒸気発生が多い場合は、噴霧注水で蒸気発生を抑制する。
- 環境 付近の着火源となるものを速やかに取除く。流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。  
少量の場合、漏洩液は土砂等に吸収させて蓋付容器に回収する。  
多量の場合、土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後回収する。  
火花を発生しない安全なシャベル等を使用するのが望ましい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 取扱場所周辺では火気、静電気、衝撃火花等の着火源の存在を厳禁する。  
静電対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。  
液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。  
蒸気発生する場所には局所排気装置を設ける。  
接触・吸収の恐れある時は個人保護具を着用する。

- 保管 直射日光を避け、換気の良い冷暗所(5 - 40 )に保管する。  
着火源、高温物等を近づけない。  
酸化性物質他混触物質と共存させない。  
容器は密閉し、蒸気の発生を防ぐ。

## 8. 暴露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度(日本産業衛生学会)	許容濃度ACGIH(TWA)
キシレン	100ppm	100ppm	100ppm
二酸化チタン		4mg/m3	10mg/m3
樹脂			
添加剤			

保護具 呼吸器の保護具 ……有毒ガス用防毒マスク



## 12. 環境影響情報

分解性	生分解性良好(キシレン)
蓄積性	データ無し。
魚毒性	甲殻類LC50 (96Hr) 2-12 ppm(キシレン)
その他	オクタノール/水分配係数 log Pow 2.8-3.2 (キシレン)

## 13. 廃棄上の注意

- ・廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する。
- ・取扱い及び保管上の注意の記載による他、引火性の強い・有害性液体に関する一般的な注意事項による。

## 14. 輸送上の注意

- ・運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積み込み荷崩れの防止を確実に行なう。
- ・取扱い及び保管上の、注意の項の記載による他、引火性の強い・有害性液体類に関する一般的な注意事項による。

陸上： 消防法、毒物及び劇物取締法

海上： 船舶安全法、港則法

航空： 航空法

国連分類 クラス3.3/P.G.III(キシレン)

国連番号 1307(キシレン)

## 15. 適用法令

消防法：危険物第4類第2石油類(非水溶性液体)  
労働安全衛生法：危険物(引火性のもの)有機則 第2種有機溶剤  
労働安全衛生法第57条の2 名称等を通知すべき有害物  
毒物劇物取締法：劇物  
船舶安全法：高引火点引火性液体  
海洋汚染防止法：ばら積み運送 有害液体物質(C類物質)  
P R T R法：第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。  
また、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に応じた安全対策の上ご使用下さい。  
なお、本資料の記載内容は、情報提供であって補償するものではありません。